

# 出張講座の実施について

令和3年4月30日  
広島県立美術館

## 1 趣旨

当館では、美術作品や展覧会の見どころなどをわかりやすく紹介する出張講座を、別紙のとおり、ご用意しています。ご希望に応じて、学芸員がお話をしに伺いますので、地域や学校などにおける鑑賞活動、相互交流の促進にご活用ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、延期・中止する場合があります。

## 2 実施日時

随時（実施日時の変更をお願いする場合があります。）

## 3 所要時間

1時間～1時間半程度  
（ご希望に応じます）

## 4 実施主体・会場

営利を目的としない県内の公民館や生涯学習センター、小中学校や高等学校など

## 5 実施メニュー

詳細は、別紙1をご覧ください。

## 6 ご用意いただくもの

- ・パソコン・プロジェクターなど
- ・講師旅費・材料実費（講演料は不要です）

## 7 申込方法

- ・申込み期日は、原則、開催希望日の1ヶ月前までとします。
- ・別紙2の申込書にご記入の上、Faxまたは郵送にて、申込みください。
- ・日程等を調整し、ご希望に沿えない場合はお断りすることがあります。

## 8 申込先

広島県立美術館 学芸課 森  
〒730-0014 広島市中区上幟町 2-22  
Tel. 082-221-6246/Fax 082-223-1444

(別紙1)

## 令和3年度 広島県立美術館 出張講座 実施メニュー

### A コレクション・トーク

#### 【日本の洋画】

- 1 風景画を楽しむ 講師：主任学芸員 角田 新

小林和作や中西利雄など、当館の所蔵する作家には魅力的な風景画を描いた画家が数多くいます。しかし一口に風景画といっても、その捉え方や切り口、そこから見えてくる世界などは、とても幅広く、それぞれに魅力的です。そうした作品の楽しみ方や読み解いていく手がかりなどを当館の所蔵する近代洋画の代表作からご紹介します。
- 2 水彩画の魅力 講師：主任学芸員 角田 新

南薫造や中西利雄など、当館の所蔵する作家には水彩画の普及に大きく貢献した作家が少なくありません。水彩画はその手軽さから、油絵などよりも1段低い表現とみられがちですが、実際には水彩画ならではの工夫や魅力にあふれています。油絵の力強さにも負けない水彩画を求めた中西利雄、水彩らしい柔らかな表現を追求した南薫造など、当館の所蔵する水彩の作品を通して、水彩に取り組んだ人々の魅力あふれる人物像にも触れながら、水彩画の魅力をご紹介します。
- 3 自画像の魅力 講師：主任学芸員 藤崎 綾

鬚光や岸田劉生、佐伯祐三、萬鉄五郎など、日本には魅力的な自画像を描いた画家が数多くいます。肖像画のなかでもひととき魅力的な画家の自画像を、近代洋画の代表作を中心にをご紹介します。①一般対象 ②子ども対象 の2種があります。
- 4 絵画の探検 ～楽しみ方のヒント～ 講師：主任学芸員 藤崎 綾

一つの作品をじっくりと見ることで初めてわかる絵の魅力。当館の所蔵品を中心に、鑑賞の楽しさが見つかるヒントになるかもしれない、いくつかのポイントをご紹介します。主に児童・生徒対象です。

#### 【日本画】

- 5 岡岷山と広島ゆかりの絵画 講師：学芸員 隅川明宏

広島城下の文化で最も有力な担い手は、広島藩主浅野家や広島藩士らでした。なかでも絵画では岡岷山(1734~1806)の名声が別格です。彼らは、どんな絵を見て、求め、描いたのでしょうか。岷山や広島ゆかりの絵画作品とそれらの関係をみてみます。

#### 【西洋美術】

- 6 ダリって誰？ 講師：主任学芸員 山下寿水

20世紀を代表する奇想の画家、サルバドール・ダリ(1904-1989)。広島県立美術館所蔵の大作「ヴィーナスの夢」を中心に、「無意識」の世界を描き続けたダリの画業をご紹介します。

## 7 戦争は美術をいかに変えたか 講師：主任学芸員 山下寿水

1914年に勃発した第一次世界大戦は、未曾有の被害をヨーロッパにもたらしました。多くの芸術家たちも戦争に参加し、その体験は近代美術に大きな影響を及ぼします。ダダやシュルレアリスム、新即物主義といった新しい芸術運動が生まれた流れをたどります。

### 【工芸】

## 8 広島がはぐくんだ伝統工芸「高盛絵」 講師：学芸員 岡地智子

「高盛絵」は漆と砥の粉を練り合わせたペーストを器面にのせ、立体的に盛り上げ、最後に色漆を塗って仕上げる技法です。江戸後期に名古屋で生まれたこの漆芸技法は、明治に入り、三代金城一國齋が広島で完成させました。当館所蔵の高盛絵作品を中心に、その技法と歴史をご紹介します。

## 9 シルクロードのくらしと工芸を知る講座 講師：学芸課長 福田浩子

当館は18-20世紀中央アジアで作られ、使われてきた工芸品を約1000点所蔵しています。シルクロードで花開いた民族衣装やジュエリーなど工芸品、そして人々の生活など、現地写真をふんだんにご覧いただきながらご紹介します。(年間3会場限定)

### 【その他】

## 10 美術館のおしごと 講師：学芸課長 福田浩子

美術館では様々な種類のスペシャリストたちが働いています。この講座では、美術館学芸員という仕事を紹介すると共に、美術館で働くその他の人々にアプローチします。児童生徒向けキャリア講座としてもご活用ください。※こども向けですが、一般の方でも大丈夫です。

## 11 話しながら見てみよう 一みんな楽しむ美術鑑賞一 講師：学芸員 森 万由子

美術鑑賞の楽しみ方は、いろいろです。一人でじっくり作品と向き合うのも良いですが、ときには人と一緒に見ることで、それまで気付かなかった魅力を発見できることもあるでしょう。本講座では、当館の所蔵品をスライドで映し、対話型鑑賞を行います。学芸員のガイドに沿って、感じたことや気付いたことを話し合いながら、みんなで作品を楽しんでみませんか。(定員20名まで)

## 12 名勝縮景園の歴史と美意識 講師：学芸員 隅川明宏

県立美術館に隣接する名勝縮景園は、1620(元和6年)に広島藩主浅野長晟が上田宗箇に命じて作庭させ、昭和15年(1940)に浅野侯爵家から広島県に寄贈された池泉回遊式の名庭園です。関連作品を交えて、およそ400年の歩みを紹介します。

## 13 浅野家の宝物館「観古館」と県立美術館の歴史 講師：主任学芸員 神内有理

「観古館」とは、縮景園の一角に、大正2(1913)年に旧広島藩主・浅野長勲により設立された美術館です。この設立は、私立の美術館としては全国的に極めて早く、浅野家の文化に対する見識の高さを示しますが、残念ながら原爆によって消失しました。本講座では、当時の様子を伝える資料類から、戦前の文化都市としての広島の姿をご紹介します。

## B 特別展のためのとくべつ講座

- 14 『没後70年 南薫造』展を楽しむ 講師：主任学芸員 藤崎綾  
展覧会会期：令和3年4月20日（火）～6月11日（日）  
呉市安浦町出身の南薫造（1883-1950）は、近代日本洋画史の代表的画家です。本展は、清新な作風で注目を集めたヨーロッパ留学時代の作品をはじめ、文展や帝展、日展出品作など代表作を網羅した決定版の回顧展。各地を旅して描いた伸びやかな油彩画や、季節の変化を捉えたみずみずしい水彩画など、豊かで温もりのある色彩に彩られた作品の魅力をご紹介します。
- 15 『はるかなる古伊万里 400年の物語』展を楽しむ 講師：学芸員 岡地智子  
展覧会会期：令和3年10月8日（金）～12月5日（日）  
今からおよそ400年前に生まれ、その多種多様な様式と完成度で世界各地の人々を魅了した伊万里焼。本展は、黎明期から最盛期、さらに近年評価が高まっている幕末明治期までを、古伊万里研究の最前線をゆく佐賀県立九州陶磁文化館が誇る名品とともに辿ります。ヨーロッパの王侯貴族を魅了した絢爛豪華な作品や、国内向けの粋な作品など、古伊万里の魅力をご紹介します。